

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 筑波大学附属坂戸高等学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
住所 〒 350-0214
埼玉県坂戸市千代田1-24-1
E-mail : konno@sakado-s.tsukuba.ac.jp
Website : http://www.sakado-s.tsukuba.ac.jp
児童生徒数：男子 210 名 女子 271 名 合計 481 名
児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（福祉、地域交流、社会貢献）

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

筑波大学附属坂戸高等学校は平成6年に農業科、工業科、家政科を有する専門高校から総合学科高校へ転身し18年が経過した。「総合学科」とは、普通科、専門学科に次ぐ第三の学科であり、普通教科と専門教科の中から興味や進路に応じて自分だけの時間割を作成することができることが特徴となる。そうした教科横断的な学習を通して、世の中のあらゆる課題に対して多角的なアプローチから持続可能な社会の創造に寄与することができ、「実学をふまえた総合学科教育そのものがESD実践である」という認識のもと、「総合学科の特色を生かした多角的アプローチによるESD実践」というテーマを掲げ、全校をあげてESD実践に取り組んでいる。国際教育、環境教育、福祉教育、食育などの多様な教育分野はもちろんのこと、学校間交流や地域連携、実際に街中に出て活動する社会貢献など、多種多様な授業を有する総合学科だからこそ取り組めるESD実践に取り組んでいる。以下、本校の（国際教育を中心とした）ESD実践の一部を抜粋して取り上げる。

平成24年度 筑波大学附属坂戸高等学校 国際教育・ESD活動	
4月	教科「国際科」スタート（新2年次：国際社会、Discussion&Debate）
4月	「世界一大きな授業」 3年生有志が校内実施
5月	東アジアグリーンスクールネットワークに関する会議 教員発表 （インドネシア政府、ユネスコジャカルタ、KOICA（韓国国際開発機構）主催）
6月	3年生1名アメリカ留学から帰国、4年生1名オランダ留学から帰国
7月	3年生2名コルニタ高校留学、2年生1名アメリカ留学
8月	第49回全国国際教育研究大会 分科会 教員発表
9月	ACCU「韓国政府日本教職員招へいプログラム」 教員派遣
9月	黎明祭テーマ「国際&3R」で実施
9月	アジア隣人プログラム コルニタ高校生徒来日、黎明祭出店
9月	スイスからの留学生来日
10月	アジア隣人P成果物 日印英3カ国語「KIRA KIRA 3R」ハンドブック完成
11月	「拓殖大学高校生小論文コンクール」入賞
11月	「国際ユース作文コンテスト（五井平和財団・ユネスコ共催）」入賞
11月	「高校生ESD国際シンポジウム@坂戸&つくば」2012開催
11月	「筑波大学国際農学ESDシンポジウム」 高校生部門 生徒・教員発表
11月	「ユネスコスクール地域交流会 in 関東」 教員発表
12月	海外校外学習（2年次全員オーストラリア）
12月	「アジアの高校生のための聞き書きプロジェクト in インドネシア」生徒・教員渡航
1月	「JICA 高校生エッセイコンテスト」入賞
1月	「日韓中高校生ESDフォーラム」 生徒・教員 運営スタッフとして参加
1月	「第4回ユネスコスクール全国大会」 教員参加
1月	1年生1名ニュージーランド留学
2月	「国際的な視野に立った卒業研究支援プログラム」 生徒ドイツ渡航
2月	第16回総合学科研究大会 教員発表
3月	H25年度海外校外学習交流校視察・打ち合わせ（台湾・インドネシア）教員派遣
3月	インドネシア林業省附属高校5校と連携協定を締結
3月	筑波大学学長表彰受賞 「海外大学間交流協定校ネットワークを活用したグローバル人材育成事業」
3月	British HillsにてEnglish Camp実施（1・2年次生希望者）
3月	「森の聞き書き甲子園フォーラム」 コルニタ高校生徒・教員来日

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
 時間外活動の時間を使用 ユネスコクラブの活動として実施
 その他（ ）

以下、授業におけるESD実践の一部を抜粋して紹介する

- ・学校菜園づくり（1年次生：「産業社会と人間」）
- ・日本財団学校プロジェクトとのコラボレーション授業で社会貢献活動を実施（1年次生：「キャリアデザイン」）
- ・筑波大学附属の特別支援学校および地元の福祉施設との交流・ボランティア活動（1年次生：「産業社会と人間」および2・3年次生：福祉科各科目）
- ・地域企業（ヤオコー）と連携した食品残渣を有効活用したリサイクルループの実践（残渣堆肥を利用した野菜栽培とスーパーでの販売活動）（3年次生：「生物資源実習Ⅱ」）
- ・坂戸市葉酸プロジェクトへの協力 ルーコラの栽培（2年次生：「農業実験」）
- ・大豆栽培から味噌製造・販売までを実践した地産池消の推進（3年次生：「食と農の科学」）
- ・機械・電子・情報等を融合した多角的な視点を育む授業（3年次生：「工学情報実習」）
- ・日本と外国の食文化比較（3年次生：「フード・デザインⅡ」）
- ・アイマスク着用により視覚障がい者の視点に立った福祉調理実習（3年次生：「フード・デザインⅡ」）
- ・農業科・工業科・家庭科・福祉科による合科的授業（3年次生：「社会福祉援助技術」）
- ・国際的な諸問題に関するディスカッション・ディベートを実施（2年次生：「国際社会」）
- ・「世界がもし100人の村だったら」から考える世界情勢（3年次生：「地理A」）
- ・MDGs（国連ミレニアム開発目標）の達成状況と背景の分析（3年次生：「地理A」）
- ・Stand Up Take Action!実施（3年次生：「地理A」）
- ・坂戸市洪水ハザードマップの作成（3年次生：「地理B」）
- ・博物館・大学・高校と連携した総合的な野外実習（1～3年次生：「総合地球科学入門」）

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など） CD-ROM 写真
 その他（ ）